

# 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

## <研究課題名>

蕁麻疹を対象とした血中タンパク質の解析研究

## <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査医学科 (研究責任者)梅村 啓史

## <研究期間>

承認日 ~ 西暦 2026年 3月 31日

## <研究の目的と意義>

蕁麻疹は生活の質を著しく悪化させるにも関わらず原因が不明の病気です。本研究では患者さんの採血をさせていただき蕁麻疹の病態や治療の研究を目的とします。採血中の血清・血漿の中にある蕁麻疹をおこす成分の中でも特にタンパク質に注目して解析し、蕁麻疹の原因を調べたり病気の勢いを反映したり治療の効果を反映したりするタンパク質を探します。この研究を推進することにより蕁麻疹の原因が分かれば新薬や新しい検査方法の開発など医学の発展が見込まれます。

## <利用する試料・情報の項目>

これまでに RK-150908-12「慢性蕁麻疹の病態解明のための研究」にご協力いただき、収集させていただいた血液から血清・血漿が作成され保存されています。これらを用いて一度に複数種類のタンパク質を解析することによって蕁麻疹の発症や重症化に深く関係しているタンパク質を探します。また電子カルテより蕁麻疹の重症度や血液検査のデータを使います。

## <対象となる患者さん>

すでに日本大学医学部附属板橋病院皮膚科を中心として行われている RK-150908-12「慢性蕁麻疹の病態解明のための研究」において2015年8月21日以降に研究同意書にサインをいただき、採血を受けられた方が対象となります。

## <研究の方法>

すでに収集された血清と血漿がそれぞれ約 4mL、-80℃の冷凍庫に保管されています。血清や血漿から日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科と皮膚科でタンパク質の抽出作業を行います。それらのサンプルを共同研究施設である北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター及びびかずさDNA研究所ゲノム事業推進部に送り解析いたします。

## <外部への試料・情報の提供等>

本研究の血液検体は患者さんの名前が分からない状態(匿名化)にしたうえで共同研究施設である北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター及びびかずさDNA研究所ゲノム事業推進部に当院の研究分担者が送付いたします。共同研究施設では血液検体の解析のみを行い、電子カルテから抽出したデータは使用いたしません。

<研究組織>

日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科(責任者:梅村 啓史)

日本大学医学部附属板橋病院皮膚科(責任者:葉山 惟大)

北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター(責任者:小寺 義男)

かずさ DNA 研究所ゲノム事業推進部(責任者:小原 収)

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

臨床検査医学科 氏名:梅村 啓史

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2570 (PHS)8370

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)